

1 . 件名 : 福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請(使用済燃料乾式キャスク仮保管設備における輸送貯蔵兼用キャスク基数の変更)に係る面談

2 . 日時 : 令和元年10月11日(金)15時00分~15時55分

3 . 場所 : 原子力規制庁 9階会議室

4 . 出席者

原子力規制庁

原子力規制部東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、山中係員、田上係員、高木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当1名

5 . 要旨

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社(以下「東京電力」という。)に対して、平成31年4月2日に規則が改正され輸送貯蔵兼用キャスク(以下「兼用キャスク」という。)を用いた使用済燃料の乾式貯蔵に関する新しい基準が策定されたが、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備に兼用キャスク13基を増設する申請について、従前と同じ方法により兼用キャスクを設置する理由を今後の廃炉の全体工程、敷地の状況、敷地境界線量評価、キャスク等の構造強度・耐震性等を踏まえ説明することを求めた。
- 東京電力から、上記を了解したとの回答があった。